

(1) 小規模校であることの良いところ

学校規模の観点から自校に該当すると思われる項目に「○」を記入してください。

[学習面]		大いに 該当する	該当する	あまり 該当しない	全く 該当しない
1	学校として児童生徒の一人ひとりの習熟度を把握しやすく、 きめ細かな指導を行いやすい。				
2	個別の活動機会を設定しやすく、意見や感想を発表する機会 やリーダーを務める機会が多くなる。				
3	郷土の教育資源を活かした活動など、校外学習・体験活動等 を展開しやすい。				
[生活面]		大いに 該当する	該当する	あまり 該当しない	全く 該当しない
4	児童生徒相互の人間関係が深まりやすい。				
5	異学年間の活動を通じて、縦の交流が生まれやすい。				
6	学校として児童生徒の一人ひとりに目が届きやすく、効果的 な生活指導が行いやすい。				
[学校運営面]		大いに 該当する	該当する	あまり 該当しない	全く 該当しない
7	全教員間の意思疎通が図りやすく、相互の連携が密になりや すい。				
8	学校が一体となって活動しやすい。				
9	運動場や特別教室など、施設・設備の利用時間等の調整が行 いやすく、余裕をもって使用できる。				
10	保護者や地域団体の協力を得られやすく、連携が図りやす い。				
11	その他、自校が小規模校であることの良いところとして感じる事等があれば記入してください。				
12	自校が小規模校であることの良いところを最大限に生かすために取り組んでいること、またはこれから取り組 みたいと思っていることがあれば記入してください。				

(2) 小規模校であることの課題

学校規模の観点から自校に該当すると思われる項目に「○」を記入してください。

[学習面]		大いに 該当する	該当する	あまり 該当しない	全く 該当しない
1	集団の中で、多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会が少ない。				
2	学級数が少ないため、クラス同士での相互啓発・相互研鑽がなされにくい。				
3	運動会などの学校行事や音楽活動などの集団活動に制約が生じやすい。				
4	グループ学習や習熟度別学習、専科教員による指導など、多様な学習・指導形態を取りにくい。				
5	教科担任制の実施や各教科の免許を持つ教員による授業が行いにくい。				
6	クラブ活動や部活動・委員会活動の種類が限定され、選択の幅が狭まりやすい。				
[生活面]		大いに 該当する	該当する	あまり 該当しない	全く 該当しない
7	クラス替えが困難なことなどから、人間関係や相互の評価等が固定化しやすい。				
8	集団内の男女比に極端な偏りが生じ、集団活動等に支障がでる場合がある。				
9	切磋琢磨する機会等が少なく、社会性や協調性、たくましさ等を育みにくい。				
10	学校として生活指導等の組織的な体制が組みにくく、指導・対応等が難しくなる場合がある。				
[学校運営面]		大いに 該当する	該当する	あまり 該当しない	全く 該当しない
11	教員数が少ないため、経験・教科・特性などの面でバランスのとれた教員構成とならない。				
12	複数学年分や複数教科分の教材研究・指導準備を行う必要があるため、教員の負担が大きい。				
13	学年別や教科別の教員同士で学習指導や生徒指導等についての相談・研究・協力・切磋琢磨が行いにくい。				
14	一人の教員に複数の校務分掌が集中するなど、組織的な校務分掌が行いにくい。				
15	教員の出張、研修等の調整が難しい。				
16	保護者の負担も含め、児童生徒一人あたりにかかる経費の負担が大きい。				

[その他]		大いに 該当する	該当する	あまり 該当しない	全く 該当しない
17	PTAや保護者会等の活動など、保護者一人あたりの負担が大きい。				
18	その他、自校が小規模校であることの課題として感じる事、困っている事等があれば記入してください。				
19	自校が小規模校であることの課題を最小化するために取り組んでいる事、またはこれから取り組みたいと思っている事があれば記入してください。				
20	下記の学校規模適正化対策のうち、 <u>自校の課題の解消や緩和に有効と思う対策</u> はありますか。また、その対策の実現可能性についてどう感じますか。あると思う場合は「○」、無いと思う場合は「×」、わからないと思う場合は「△」を記入してください。				

[神戸市で取り組んでいる学校規模適正化対策の主な事例]

	手 法	概 要	有効性	実現可能性
①	学校統廃合	隣接する学校を統廃合し、新たに学校を設置することにより、児童生徒数を確保する。		
②	校区調整	隣接する学校間で校区を見直し、通学区域を変更することにより、児童生徒数を確保する。		
③	希望選択制 (隣接区域選択制)	従来の校区は残したままで、隣接する学校の校区から、希望により就学を認めることにより、一定の児童生徒数を確保する。		
④	小規模特認校化 (特認校制)	特色ある教育を推進している小規模校において、通学区域に関係なく、市内のどの地域からでも就学を認める(通学時間概ね1時間以内)。		
⑤	学園制	同一校区内の中学校に専科教員を配置し、複数小学校と中学校とで連携した授業等を実施(文部科学省の学園制加配事業を活用)。		
⑥	行事等の合同実施	複数の学校で連携し、修学旅行など学校行事、特別授業等を合同で実施。		

[他市で取り組まれている学校規模適正化対策の主な事例]

	手 法	概 要	有効性	実現可能性
⑦	義務教育学校化	小学校と中学校を統合（複数の小中学校、距離が離れた学校も含む）し義務教育学校となることで、一定の児童生徒数を確保する。		
⑧	学年別分校	隣接する学校を統合のうえ、それぞれの校舎を活用して学年別で使用校舎を振り分けることにより、学年ごとの児童生徒数を確保する。		
⑨	自由校区制 (特定地域選択制)	従来の校区は残したままで、特定の地域に居住する者について地域内の小学校への就学を選択させることにより、一定の児童生徒数を確保する。		
⑩	ICTの活用	ICTを活用し、オンラインによる他校との合同授業や交流事業を実施することにより、多様な意見に触れる機会等を確保する。		
⑪	教員の兼務発令・巡回指導等	複数学校間で教員の兼務発令や巡回指導システム等を導入し、各教科の免許を持つ教員による指導を確保する。		

(3) 大規模校であることの良いところ

学校規模の観点から自校に該当すると思われる項目に「○」を記入してください。

[学習面]		大いに 該当する	該当する	あまり 該当しない	全く 該当しない
1	集団の中で、多様な考え方に触れ、認め合い、切磋琢磨する機会を通じ、一人ひとりの資質等を伸ばしやすい。				
2	クラス同士での相互啓発・相互研鑽がなされやすい。				
3	運動会などの学校行事や音楽活動などの集団活動に活気がある。				
4	グループ学習や習熟度別学習、専科教員による指導など、多様な学習・指導形態を取りやすい。				
5	教科担任制の実施や各教科の免許を持つ教員による授業が行いやすい。				
6	様々なクラブ活動や部活動・委員会活動を設置することができ、選択の幅に広がりがある。				
[生活面]		大いに 該当する	該当する	あまり 該当しない	全く 該当しない
7	クラス替えがしやすいことなどから、豊かな人間関係の構築や多様な集団の形成が図りやすい。				
8	切磋琢磨すること等を通じて、社会性や協調性、たくましさ等を育みやすい。				
9	学校として、生活指導等の組織的な体制を組みやすい。				
[学校運営面]		大いに 該当する	該当する	あまり 該当しない	全く 該当しない
10	教員数が多いため、経験・教科・特性などの面でバランスのとれた教員構成ができる。				
11	学年別や教科別の教員同士で学習指導や生徒指導等についての相談・研究・協力・切磋琢磨が行いやすい。				
12	組織的な校務分掌が行いやすい。				
13	教員が出張・研修等に参加しやすい。				
14	保護者の負担も含め、児童生徒一人あたりにかかる経費の負担を少なくできる。				
15	その他、自校が大規模校であることの良いところとして感じる事等があれば記入してください。				

16	自校が大規模校であることの良いところを最大限に生かすために取り組んでいること、またはこれから取り組みたいと思っていることがあれば記入してください。

(4) 大規模校であることの課題

学校規模の観点から自校に該当すると思われる項目に「○」を記入してください。

[学習面]		大いに 該当する	該当する	あまり 該当しない	全く 該当しない
1	学校として児童生徒の一人ひとりの習熟度に応じたきめ細やかな指導が行いにくい。				
2	学校行事等において係や役割分担のない児童生徒がいる場合があるなど、一人ひとりの活躍する場や機会が少ない。				
3	施設の受け入れや移動に制限がでるなど、校外学習・体験活動等の展開が難しい。				

[生活面]		大いに 該当する	該当する	あまり 該当しない	全く 該当しない
4	同学年でもお互いの顔や名前を知らないなど、児童生徒間の人間関係が希薄化している。				
5	集団生活において同学年の結びつきが中心となり、異学年間の交流が不十分になりやすい。				
6	学校として児童生徒の一人ひとりの行動等に目が届きにくく、生活指導等が行き渡りにくい。				

[学校運営面]		大いに 該当する	該当する	あまり 該当しない	全く 該当しない
7	校長が一体的なマネジメントを行ったり、教員が十分な共通理解を図るうえで支障が生じる場合がある。				
8	学校が一体となつての活動が難しい。				
9	児童生徒一人あたりの校舎面積・運動場面積等が狭く、集団活動などの展開に支障が生じることがある。				
10	運動場や特別教室など、施設・設備の利用時間等の調整が難しい。				
11	保護者や地域団体との調整が難しく、連携が図りにくい。				

12	その他、自校が大規模校であることの課題として感じる事、困っている事等があれば記入してください。
----	---

--

13	自校が大規模校であることの課題を最小化するために取り組んでいること、またはこれから取り組みたいと思っていることがあれば記入してください。
----	--

--

14	下記の学校規模適正化対策のうち、自校の課題の解消や緩和に有効と思う対策はありますか。また、その対策の実現可能についてどう感じますか。あると思う場合は「○」、無いと思う場合は「×」、わからないと思う場合は「△」を記入してください。			
	手 法	概 要	有効性	実現可能性
①	校区調整	隣接する学校間で校区を見直し、通学区域を変更することにより、児童生徒数を適正規模にする。		
②	希望選択制 (隣接区域選択制)	従来の校区は残したままで、希望により隣接する学校への就学を認めることにより、児童生徒数を適正規模にする。		
③	自由校区制 (特定地域選択制)	従来の校区は残したままで、特定の地域に居住する者について、地域内の小学校への就学を選択させることにより、児童生徒数を適正規模にする。		